

七高SSH通信

R4/8/17
令和4年度
第6号

\\石川県立七尾高等学校SSH推進室//

全国高等学校総合文化祭

7月31日(日)～8月4日(木)にかけて、第46回全国高等学校総合文化祭(とうきょう総文2022)が東京都で行われました。石川県代表として本校から、自然科学部門(生物)の『タンポポの種子の特徴から見た在来種と外来種の繁殖戦略の違い』のグループ(36H 示野さん・宮田さん・宮元さん)、自然科学部門(物理)の『様々な条件下におけるダイランシー現象の抵抗力の変化について』のグループ(36H 大田さん・干場くん・細谷くん)、自然科学部門(地学)の『石の発光と石の硬度や含まれる鉱物との関係』のグループ(36H 大能くん・楠くん・長谷さん)が参加し、会場の東京富士大学において自分たちの研究について発表を行いました。

そして、最終日の8月4日は、文京学院大学本郷キャンパスにおいて、瀬尾拓史氏による「医療×3DCG=?」の講演を聞きました。

シンガポール海外研修(オンライン)

7月21日(木)～28日(木)にかけて、2年生理数科が、本校と交流のあるシンガポール国立大学附属数理高校(NUSハイスクール)とオンラインで研究交流を行いました(この研修は毎年希望者を対象に行っている事業です)。シンガポールの生徒と本校の生徒がペア(バディ)になって様々な活動を行います。使用言語はすべて英語であり、初日は緊張して話せない場面も見られましたが、バディ同士協力して活動を行う中で打ち解けていきました。バディを組んでいない生徒も協力してくれ、何とか意見や考えを伝えようと工夫したり一生懸命話したりしていました。研究内容だけでなくお互いの文化についても情報交換することができて、たくさんの刺激を受けた研修となりました。



タンポポの種子の特徴から見た在来種と外来種の繁殖戦略の違い



様々な条件下におけるダイランシー現象の抵抗力の変化について



石の発光と石の硬度や含まれる鉱物との関係



生徒の感想

- オンラインでしたが、生で使われている英語に触れて、とても自分の刺激になりました。発表や講義、交流戦は大変なところもありましたが、この経験を学習や生活に活かしていきたい。
- すべて英語だったので、うまく伝わらなかったり、分からないところもあったけど、シンガポールの魅力をたくさん知ることができ、バディとも楽しく会話できてとても楽しかった。
- 外国の文化を学びながら英語のリスニング力も上げることができて良い経験になった。

ファシリテーション養成講座(基本編)

7月29日(金)に、(株)シェヘラザード代表坂本祐央子氏を講師に迎え、1年生文フロと理数科を対象に「ファシリテーション養成講座(基本編)」を行いました。探究や課題研究での主体的な活動のために、汎用的なスキルとしてのファシリテーションの方法を学び、身に付けることが目的です。これからの課題研究で必要な話し合いを円滑に進めることができるファシリテーションの方法について、その入り口を体験し、基本を身に付けることができたようです。今後の活動が楽しみです。

